

地域包括ケア「見える化」システムを活用した 磐田市介護保険事業の地域分析（令和6年度）

地域包括ケア「見える化」システムについて

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。システムを活用し、本市と全国・県・近隣市町を比較・分析し、本市事業の見える化を図ります。

目 次

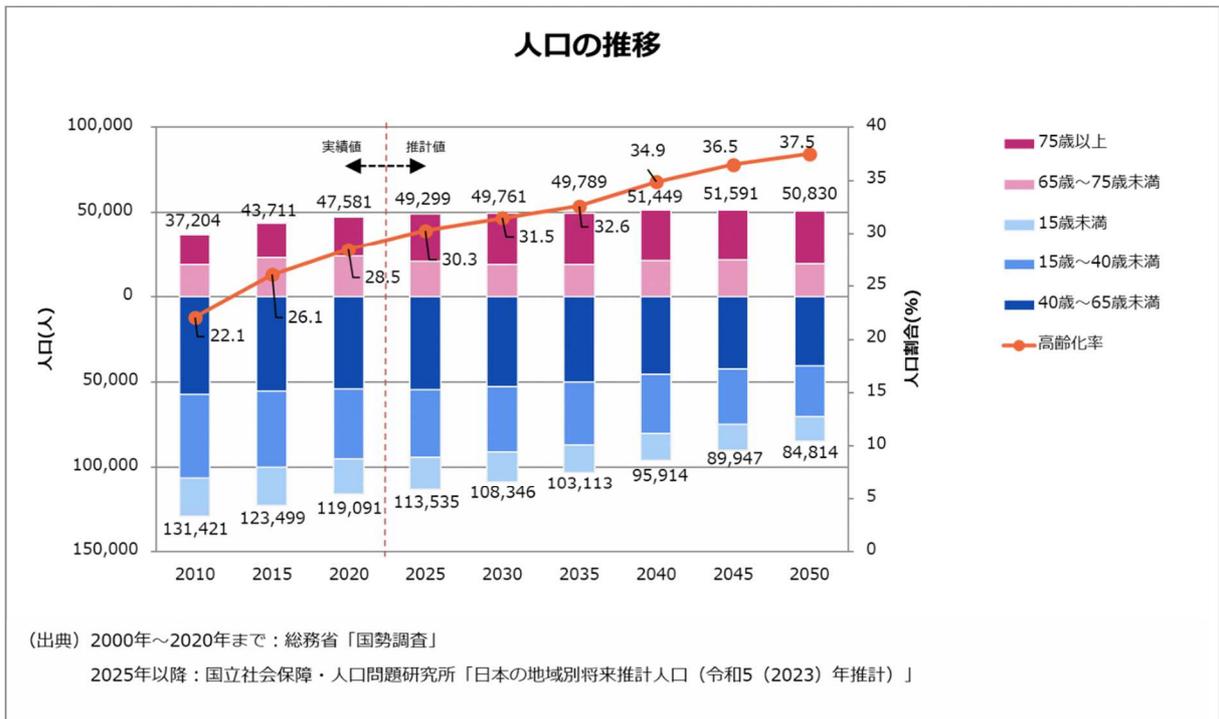
1. 人口及び高齢化率の推移
 - ・人口の推移
 - ・高齢化率

2. 要介護・要支援認定者数、認定率の推移
 - ・要支援・要介護認定者数の推移（要介護度別）
 - ・磐田市の要支援・要介護認定者数（要介護度別）
 - ・調整済み認定率（要介護度別）
 - ・調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布

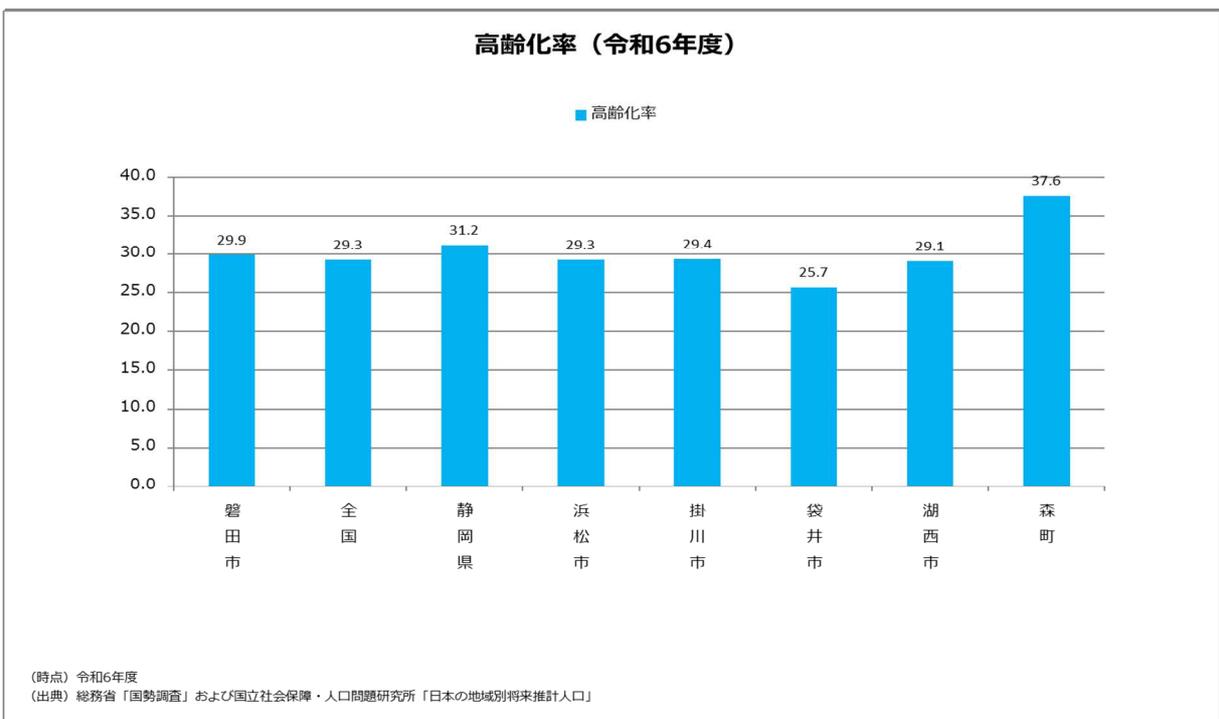
3. 費用額の推移
 - ・介護費用額の推移
 - ・第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス）
 - ・第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス）

4. 保険料額の推移
 - ・保険料額の推移
 - ・第1号被保険者1人あたり保険料月額

1. 人口の推移

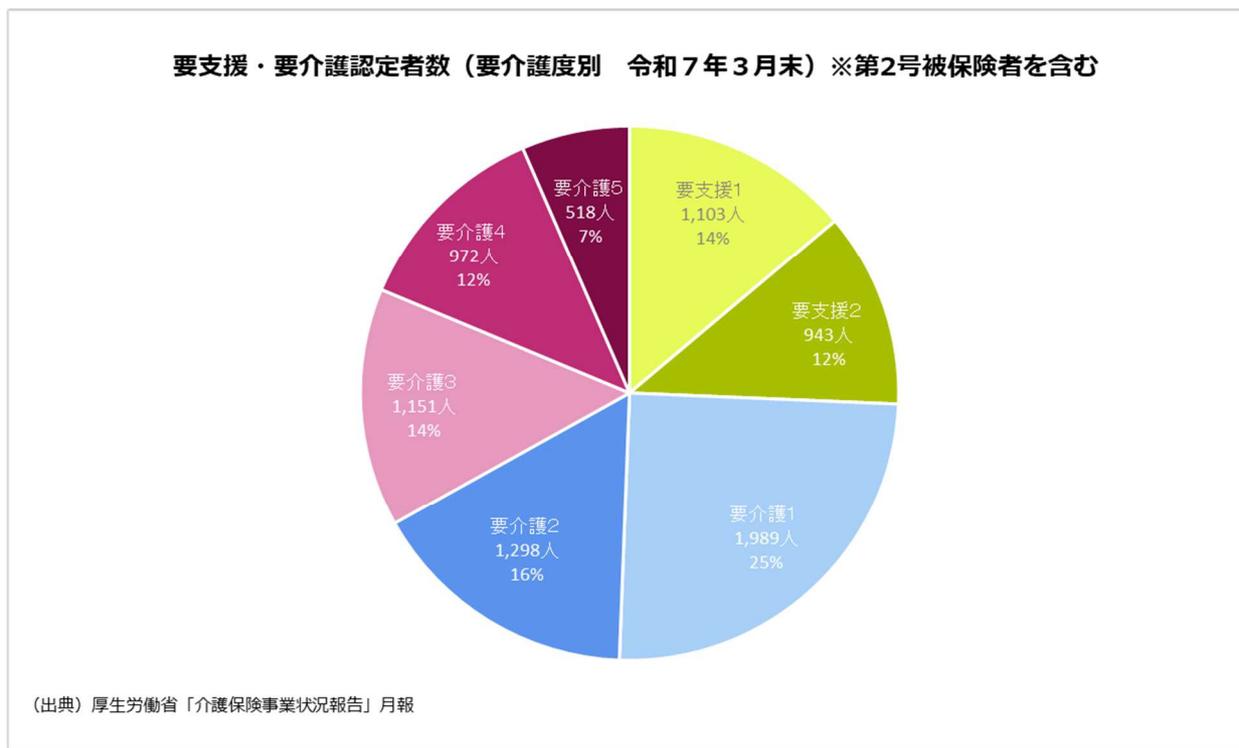
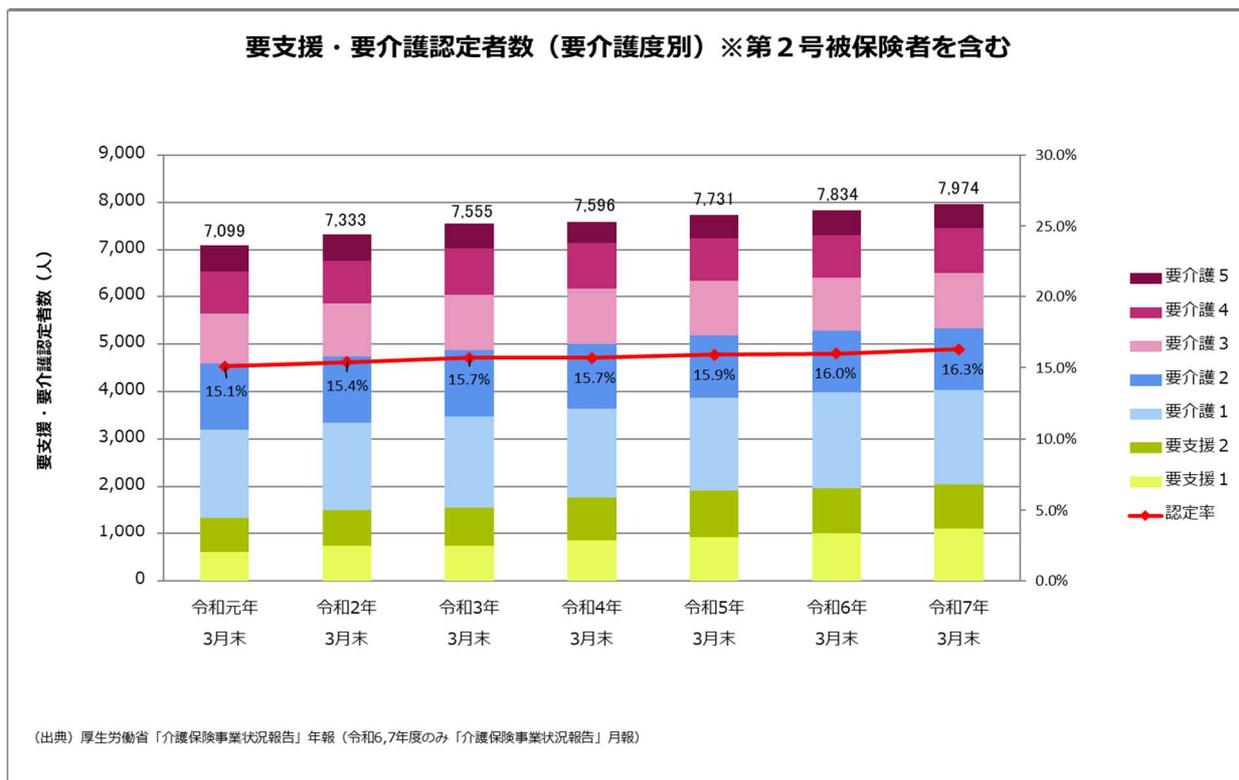


本市の人口は、2008年頃をピークに減少するとともに、高齢化率及び高齢者人口は増加し続けており、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」によると、2050年には、人口135,644人（2020年対比：△31,028人）、高齢者人口50,830人（2020年対比：+3,249人）、高齢化率37.5%（2020年対比：+9.0ポイント）となる見込みです。



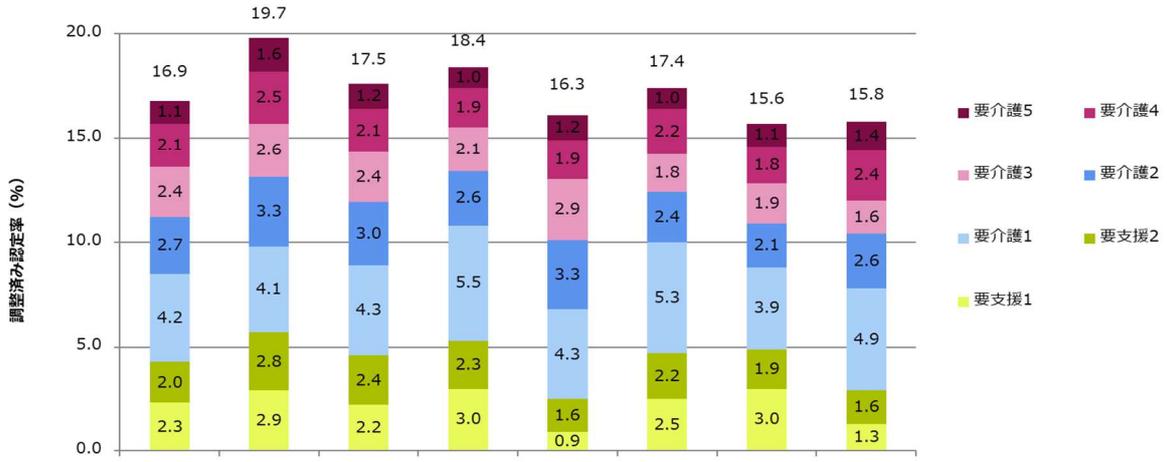
高齢化率は29.9%で、静岡県の31.2%を下回るものの、全国及び周辺市を上回っています。

2. 要介護・要支援認定者数、認定率の推移



認定率は年々上昇する傾向にあります。介護度別では、要支援は増加、要介護は横ばい又は微増の傾向にあり、要支援の占める割合が大きくなっています。

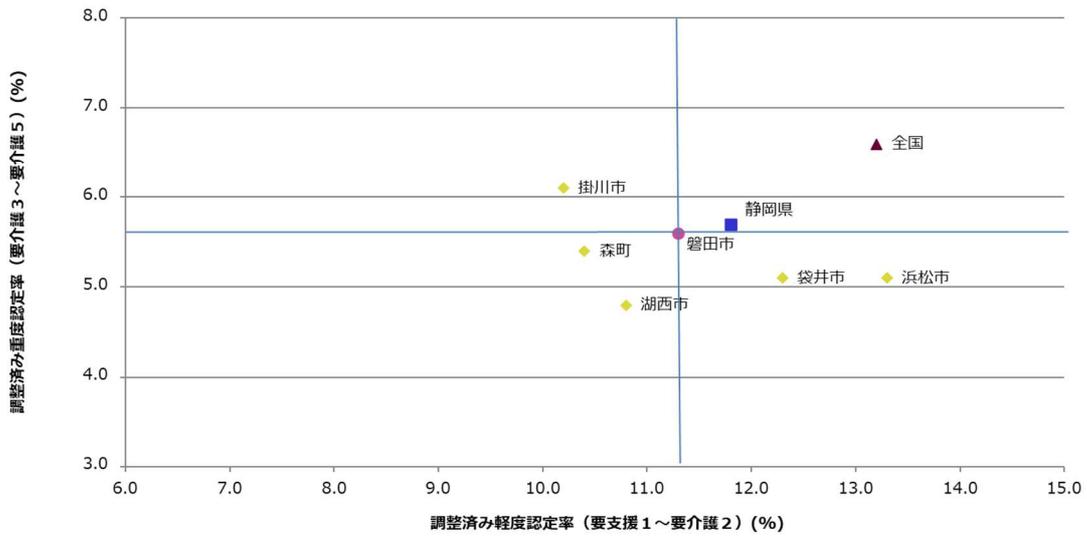
調整済み認定率（要介護度別）（令和6年度）



（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布（令和6年度）



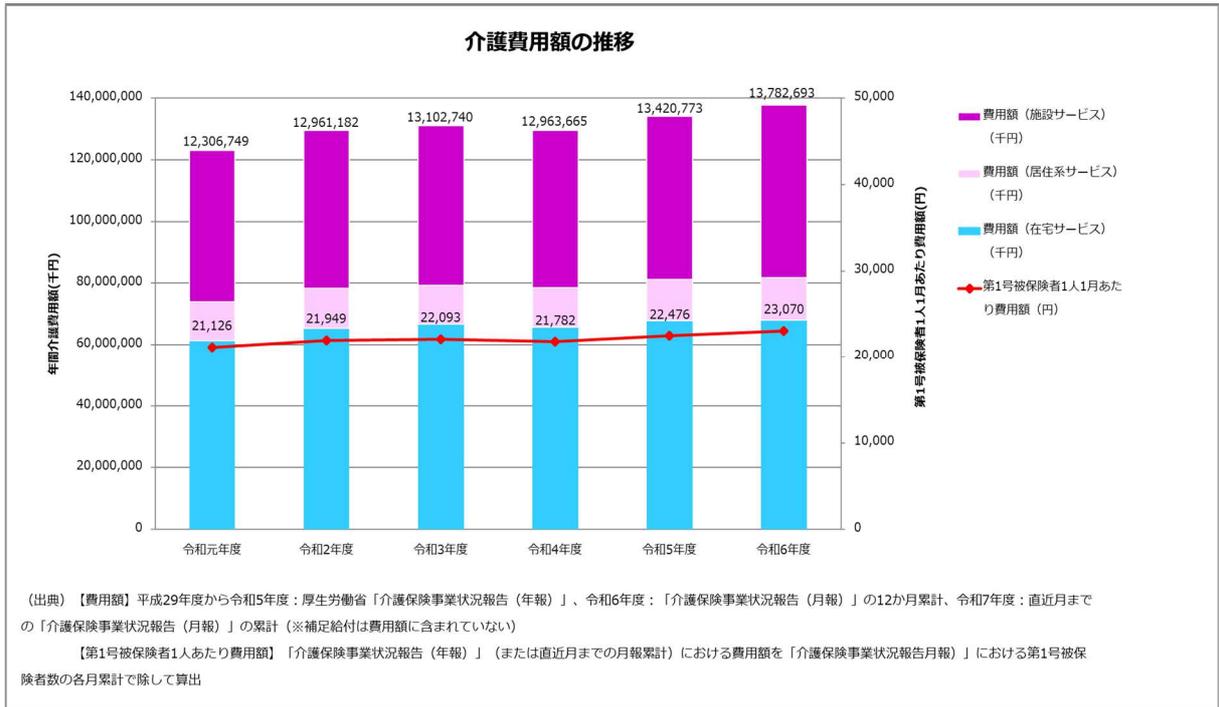
（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

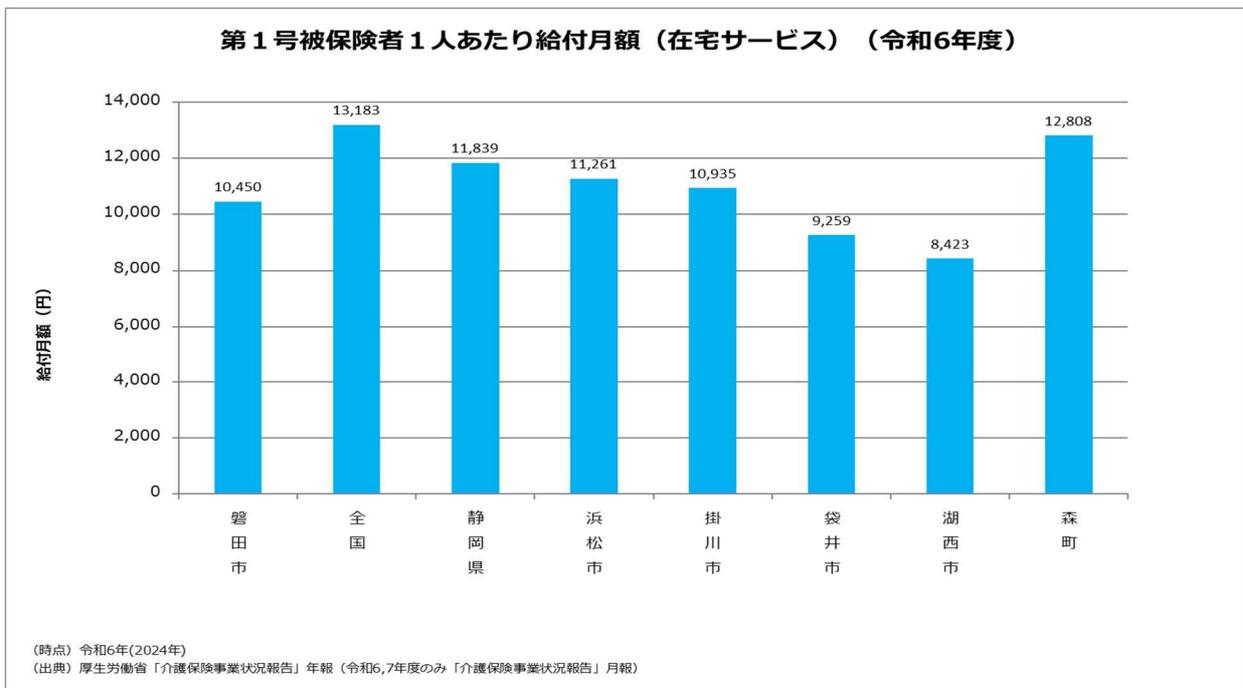
調整済み認定率は16.9%となっており、全国及び静岡県よりも低い率となっています。介護度別では、重度及び軽度認定率ともに全国・静岡県よりも低い率となっていますが、周辺市町と比較すると、軽度認定率は中位ですが重度認定率は若干高い率となっています。

※調整済み認定率：認定率の大小に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」が、どの地域も同じになるように調整することで、地域間での比較がしやすいように調整した数値です。

3. 費用額の推移

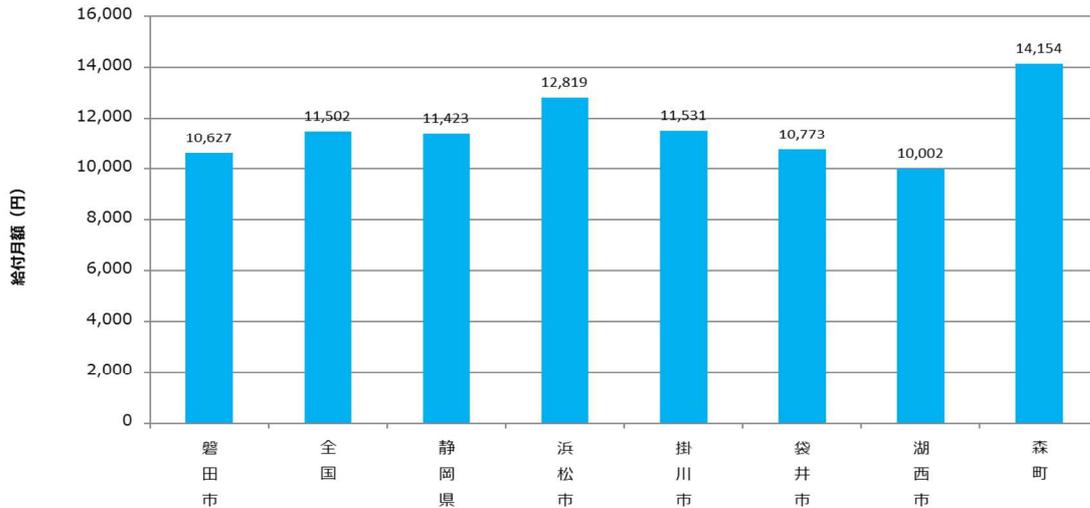


介護費用額は令和4年度に若干減少しましたが、年々上昇傾向にあります。令和6年度の介護費用額は13,782,693千円で前年度より361,920千円（2.7%）増、第1号被保険者1人月あたり費用額は23,070円で594円（2.6%）増となっています。



サービス別1人あたり給付月額（在宅サービス）は10,450円で、全国及び静岡県よりも低い額ですが、周辺市町と比較すると若干高い傾向にあります。

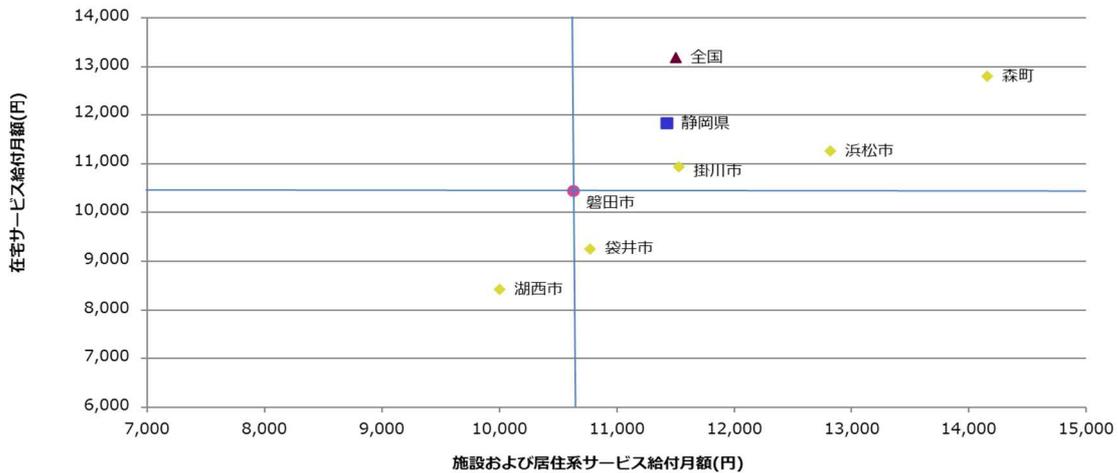
第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス）（令和6年度）



(時点) 令和6年(2024年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6,7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

サービス別1人あたり給付月額（施設及び居住系サービス）は10,627円で、全国及び静岡県よりも低く、周辺市町と比較しても低い傾向にあります。

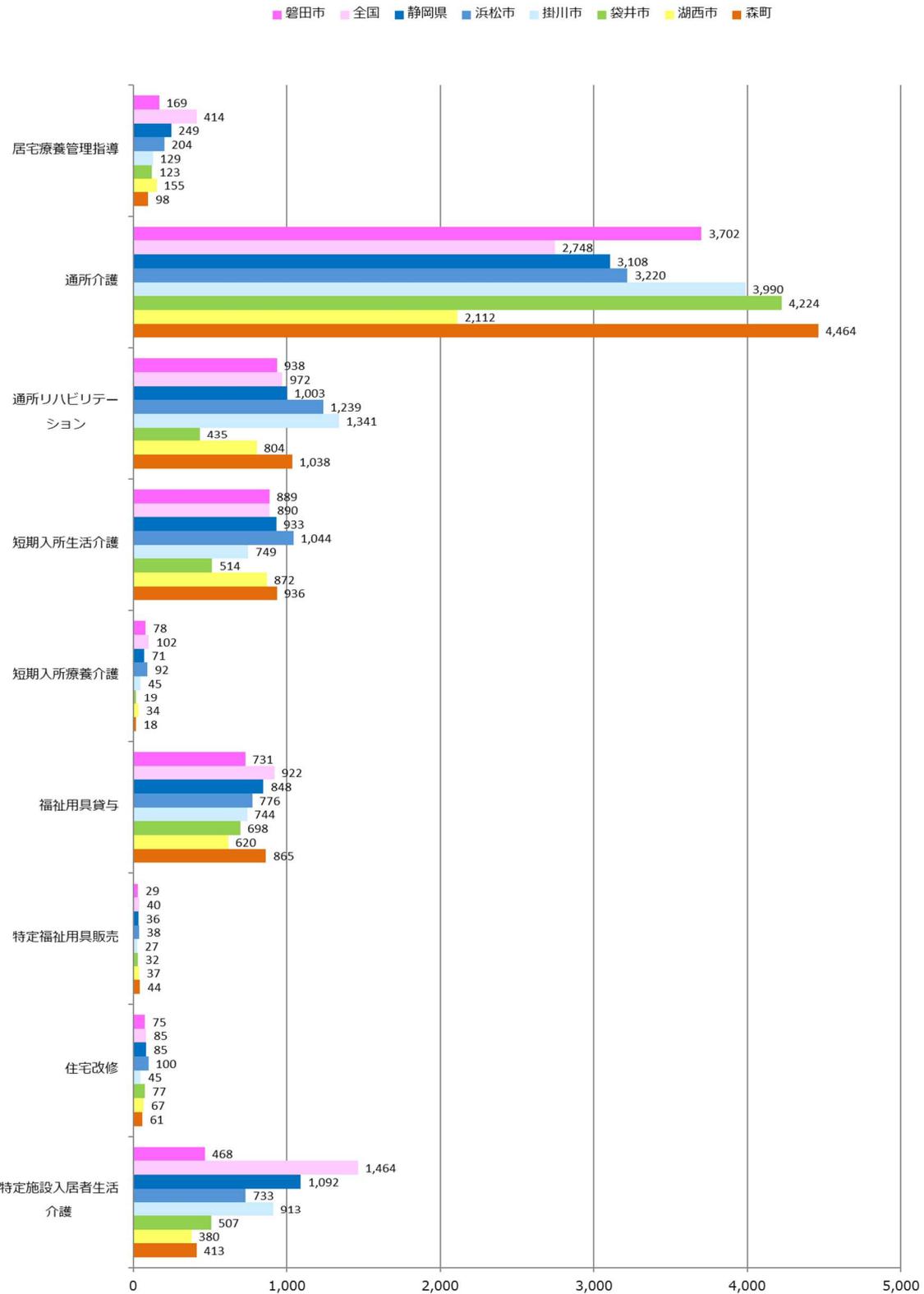
第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）（令和6年度）



(時点) 令和6年(2024年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6,7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

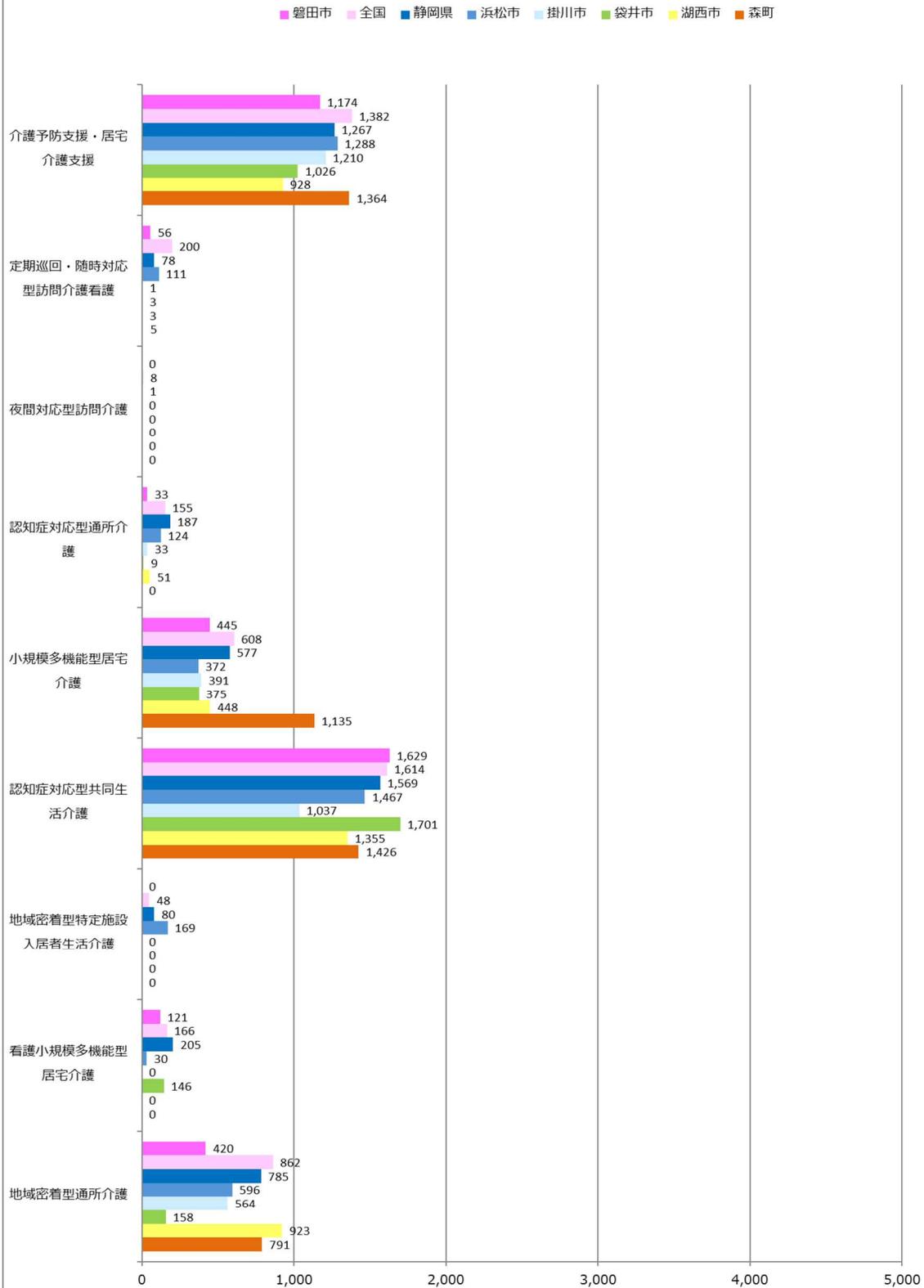
サービス系列別に1人あたり給付月額をまとめると上記のようになります。
 サービス種類別の詳細は次のとおりです。

第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス種類別）（令和6年度）



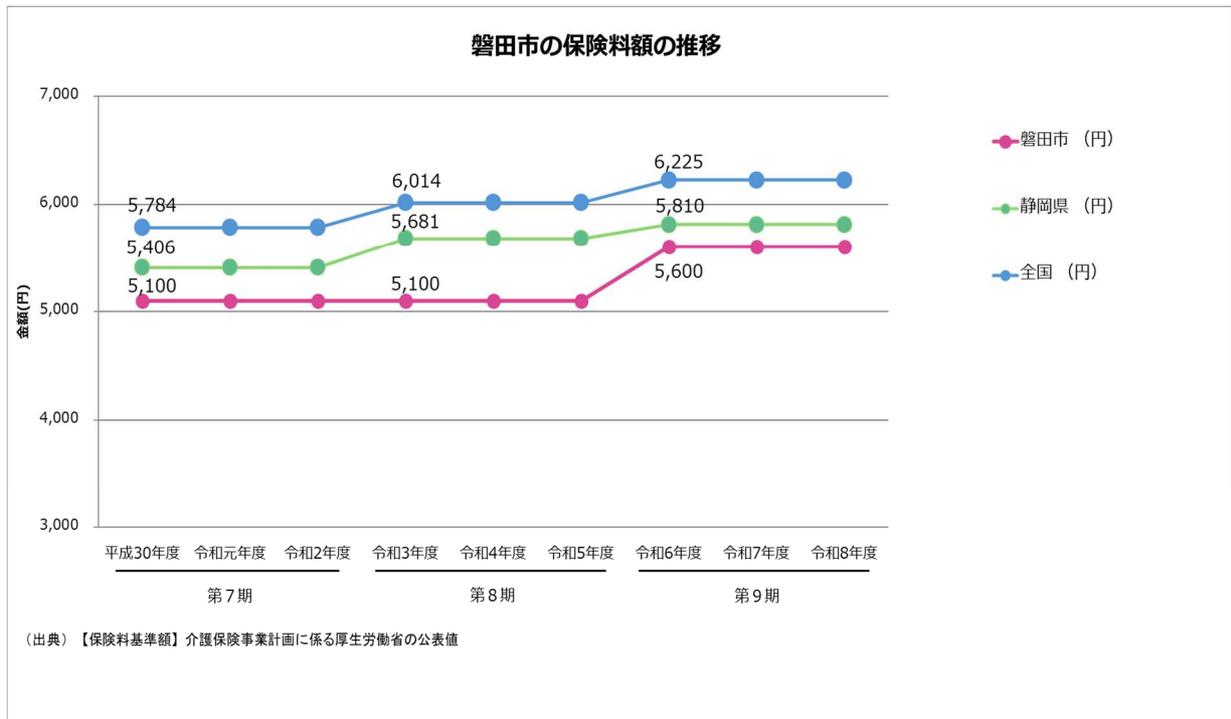
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6,7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス種類別）（令和6年度）

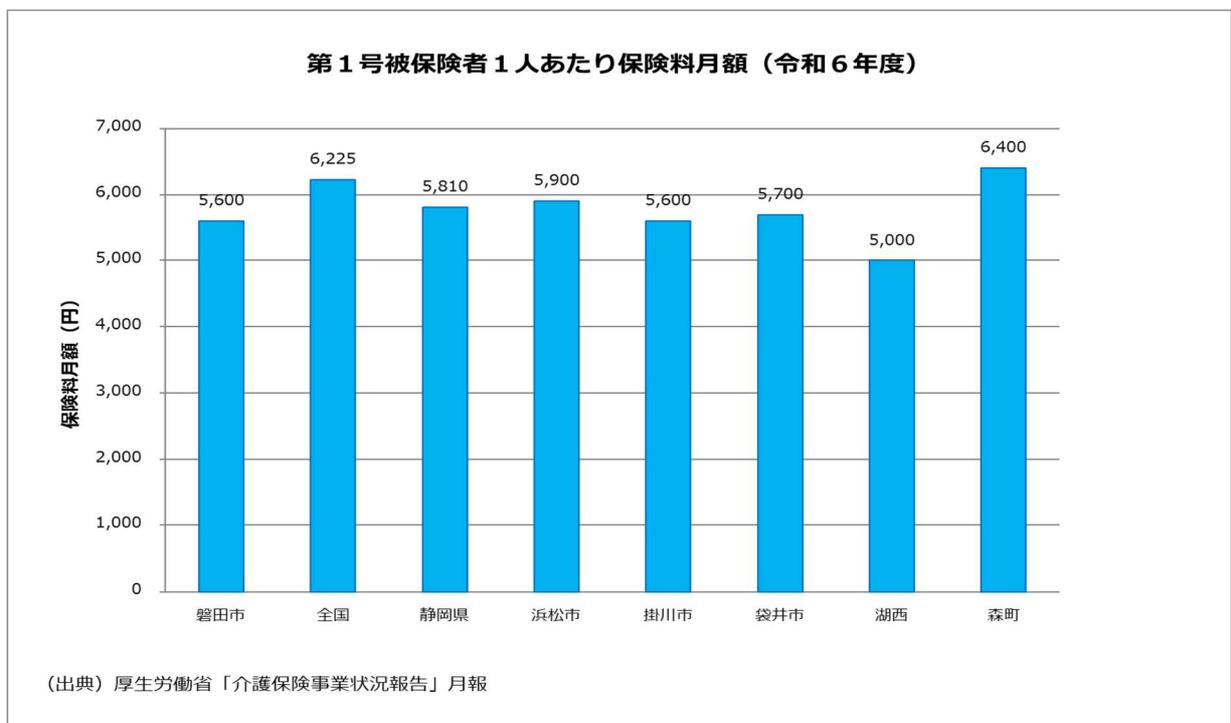


（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6,7年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

4. 保険料額の推移



本市の保険料は第6期（平成27年度）から据え置いてきましたが、高齢者の増加に伴う介護需要の高まりを見込み、第9期から改定しました。なお、改定後も全国や静岡県と比較して低い水準にあります。



保険料額は全国・静岡県よりも低く、周辺市町と比較しても低い水準にあります。

5. まとめ

本市の高齢化率は、静岡県全体と比べ低い状況ですが、全国及び周辺自治体との比較では若干高い状況にあり、認定率も年々上昇している傾向です。介護費用額を見ると、令和4年度は前年度に比べて減少したものの、令和5年度以降は再び増加に転じ、長期的には増加傾向にあります。

本市の第1号被保険者1人あたりの給付月額、全国、静岡県及び周辺自治体と比べて低い状況です。しかし、今後、高齢化がさらに進むことで介護サービス需要の増大が見込まれます。この状況に対応し、将来にわたり安定した介護保険制度を維持するため、第9期介護保険事業計画（令和6～8年度）から、平成27年度以来据え置いていた保険料額を改定（増額）しました。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、新たな第9期介護保険事業計画に基づき、これまで推進してきた「地域包括ケアシステム」の取り組みをさらに深化させるとともに、多様な介護サービスの基盤整備や介護予防・重度化防止の取り組みに力を入れていくことがますます重要になっています。